

令和2年度 福岡市総合教育会議

○日 時

令和3年3月18日(木) 午前11時00分～11時40分

○開催方法

Web会議

○出席者(7名)

市長 高島 宗一郎

教育委員会 星子 明夫(教育長)

町 孝 原 志津子

武部 愛子 西村 早苗

徳成 晃隆

議事次第

1 開会

2 市長挨拶

3 教育長挨拶

4 議事

(1) 協議事項

・ニューノーマルにおける新たな学習スタイルの実践

① ICTを活用した新しい授業スタイルの確立

② オンライン授業の実施

③ ジョイントクラス事業

④ 教育課程における補充学習の確立

⑤ 新たな家庭学習の確立

⑥ 教職員のICT指導力向上を図る研修

⑦ 大学との連携

※ 百道浜小学校児童とのオンライン交流

(2) その他

5 閉会

○協議・調整が行われた事項

(1) 協議事項

○ニューノーマルにおける新たな学習スタイルの実践

- ・教育委員会から、ICT を活用した新しい授業スタイルの確立等について説明し、意見交換を行った。

(主な意見)

- ・土曜日に実施された保健体育のオンライン授業において、有名スポーツ選手の名言を各自ネットで検索し、それをもとにクラスで意見交換して、先生がとりまとめを行い、最終的に生徒自身がオンラインで提出するという、双方向のやりとりが効果的に行われていた。
- ・病気やけがなど様々な理由で長く学校に行けない子ども達にとって、学習の遅れが一番不安だと思っていることであり、その中で分からない点や、学校の教室で行っている勉強に追いつけるような学習を自分たちの端末でできるということは、とても安心できると思う。
- ・先生方のアップデートがポイントだと思う。子どもたちに教える人という役割から、ファシリテーターであったり、伴走者であったり、これから望まれる学校の教員を育てることが必要である。
- ・データを見ると7～8割の先生がICTの活用に不安を感じているため、研修体制がうまくいくように教育委員会としてもバックアップする必要がある。
- ・(教員の育成に関する大学との連携は) とても重要なことであり、優秀な学生を採り入れるという意味ではよい取組みを行っているのではないかと感じている。

(2) その他

子ども達のなりたい職業のランキングで、小中高の女の子において、2位に教員があった。子ども達がコロナの中での先生方のフォローをすごく感じてくれているんだと思う。これを励みに頑張ってもらいたい。

発言者	発言内容
企画調整部長	<p>定刻となりましたので、これより、令和2年度福岡市総合教育会議を開催いたします。</p> <p>私は本日司会を務めさせていただきます、総務企画局企画調整部長の山嶋と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは開会にあたりまして、最初に高島市長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
高島市長	<p>教育委員の皆様には、日頃から福岡市の教育行政の推進にご尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。</p> <p>この一年、新型コロナウイルス感染症が世界各地に広がり、これまで当たり前だったことが当たり前でない世の中になりました。</p> <p>子ども達は、学校生活において、長い休校期間を経験したり、学校行事や部活動の大会等が中止になったりと、様々な場面で困難を感じてきたり、悔しい思いをしたことだと思います。</p> <p>今日の会議では、「ニューノーマルにおける新たな学習スタイルの実践」というテーマで、本市におけるICT教育の現状や今後の方向性などについて、幅広く意見交換をさせていただきたいと考えております。</p> <p>短い時間ではありますが、教育委員会との連携をより深める有意義な場にしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
企画調整部長	<p>続きまして、星子教育長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
星子教育長	<p>教育委員会を代表いたしまして、一言ごあいさつを申し上げます。</p> <p>先ほど高島市長のご挨拶にもあったように、新型コロナウイルスは、私たちの日常生活に大きな影響を与えており、学校現場においても休業を余儀なくされました。</p> <p>今年度は、オンライン授業の実施など、新しい授業の形にもチャレンジしてきたところですが、課題も見えてきました。</p> <p>令和3年度は、これらの課題を着実にクリアしながら、子ども達一人ひとりの能力を最大限に引き出す教育を推進してまいります。</p> <p>本日、市長と意見を交換し、教育行政のさらなる前進と充実につなげていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
企画調整部長	<p>それでは議事に入ります。本日は、「ニューノーマルにおける新たな学習スタイルの実践」を議題としております。</p> <p>まず、取組状況について、教育委員会から説明をいただいた後、意見交換を行う形で進めていきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、11時29分を目途に、百道浜小学校とオンラインでつなぐ予定となっております。</p> <p>それでは、資料1について、教育委員会事務局から説明をお願いいたします。</p>

<p>指導部長</p>	<p>それではまず動画を作成しておりますので、そちらをご覧ください。</p> <p>(学校における1人1台端末の活用に関する動画を上映)(約6分)</p> <p>これまでの取組みが伝わってきたのではないかと思います。</p> <p>それでは、資料1に沿って、ニューノーマルにおける新たな教育スタイルの実践取組みについて、報告をさせていただきます。</p> <p>1ページをご覧ください。</p> <p>まず、1の「ICTを活用した新しい教育スタイルの確立」についてです。</p> <p>国が掲げる「GIGAスクール構想」に基づき、本市では、昨年11月までに全ての児童生徒に1人1台端末が整備されました。</p> <p>その1人1台端末を用いて、3つの視点からICTを活用した学びをスタートしております。</p> <p>①の「一斉学習による学び」は、子どもの考え・作品の一斉表示及び指導者用デジタル教科書の活用により、これまでより分かりやすい授業を、</p> <p>②はいわゆる「協働学習」で、友達のさまざまな見方・考え方に触れる機会の創出及びインターネット上での他校、地域の方々との交流</p> <p>③の「個別学習」では、一人一人の習熟度に合わせたドリル学習やインターネットを活用した調べ学習</p> <p>などを実施しております。</p> <p>今後ともICTを最大限に活用し、より分かりやすく理解が深まる授業を展開してまいります。</p> <p>次に、2の「オンライン授業の実施」についてです。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖をはじめ、感染不安や不登校傾向、長期入院の児童生徒に対して、子ども達の学びを止めないよう、教室の授業を届けるオンライン授業を実施しております。</p> <p>オンライン授業を受けている不登校傾向の児童生徒からは、「授業の説明を受けることができうれしい」「一緒に授業を受けている感覚がある」という声があがっており、保護者からも「学習に前向きに取り組むことができるようになってきている」などの声をいただいております。</p> <p>また、大学や企業などと連携し、アナウンサーによる朗読・発声の授業など、専門知識・技能を有する方々をゲストティーチャーに迎えたオンライン学習も実施しております。</p> <p>次に3の「ジョイントクラス事業」についてです。</p> <p>1人1台端末の導入によりオンライン授業の可能性が広がり、時間と場所の制約を超えた授業ができるようになりました。</p> <p>そこで、新たな取組みとして、玄界・小呂・北崎中学校をテレビ会議システムで繋いだ遠隔合同授業を実施し、子ども達の教育活動のさらなる充実を図ってまいります。</p>
-------------	--

	<p>続きまして2ページ目をご覧ください。</p> <p>まず4の「教育課程における補充学習の確立」についてです。</p> <p>令和3年度からすべての小・中学校において、1人1台端末を活用したドリル学習の時間を新たに時間割の中に設けていきます。児童生徒が自分の習熟度にあったドリル学習に取り組み、教員は児童生徒の学習状況をリアルタイムで確認し、必要に応じてコメントを配信するなど、一人一人の学習状況に応じた学びを充実させ、全ての児童生徒の学力の底上げを図るほか、学習が進んでいる児童生徒については、発展的な問題にチャレンジするなど、それぞれの能力にあわせた学習スタイルを展開してまいります。</p> <p>次に、5の「家庭学習の充実」についてです。</p> <p>令和3年度から、家庭学習も大きく変えていきます。AIドリルを使った宿題やインターネットを活用した調べ学習、また、授業でわからないところを学習動画で学び直したり、授業の予習をするなど、家庭学習も含めた新しい学習スタイルの確立に取り組んでいきたいと考えています。そのために、児童生徒は1人1台端末を持ち帰ることになりますが、通信環境のない家庭には、モバイルルータを貸し出すこととしております。</p>
<p>教育センター所長</p>	<p>続きまして「6 教職員のICT指導力向上を図る研修」についてです。</p> <p>これまで説明させていただきました「新しい学習スタイル」を実践していくためには、教職員のICT指導力の向上が不可欠です。</p> <p>まず、各学校に在籍するICT活用推進のリーダーが、専門講師による研修を受講します。</p> <p>そして、スキルアップしたリーダーが中心となって校内研修を行い、教職員一人一人のICT指導力を向上させていきます。他にも、常時閲覧可能な動画マニュアルを配信するなど、教職員が自ら学べる環境を整備し、「新しい学習スタイル」に対応できる教員を育成して参ります。</p> <p>最後に「7 大学との連携」についてです。</p> <p>令和2年12月に「福岡市・大学教員養成連携協議会」を立ち上げ、近隣15大学と連携して、教員養成に関する協議を行っております。</p> <p>その中で、学生が採用後に即戦力として活躍できるように、採用前からの福岡市と大学が連携した取組の必要性が議題としてあがりました。</p> <p>そこで、令和3年度からの具体的な取組として、採用前からのICT活用指導力等の向上のため、大学での基本的知識・技能の習得に加え、指導主事を大学に派遣して実践力を高めるための指導、福岡市立学校での教育実習による実践等を行ってまいります。</p> <p>また、大学と連携して育成した学生を、福岡市の教員として採用する仕組みづくりに取り組んでまいります。</p> <p>私からの説明は以上です。</p>
<p>星子教育長</p>	<p>ただいま両部長から説明させていただきましたが、私から、教育委員会として、令和3年度に、特に重点的に取り組みたいと考えていることを4点</p>

	<p>お伝えさせていただきます。</p> <p>1点目は、「新しい授業スタイルの確立」、中でも学習者用、子ども達用のデジタル教科書の導入です。</p> <p>令和2年度に1人1台端末をトップスピードで導入し、指導者用のデジタル教科書も導入しました。</p> <p>この全国の中での優位性を継続し、より分かりやすい授業・学習を実現するため、令和3年度は国の実証事業も活用して、小学校5年から中学3年までの5学年で、学習者用デジタル教科書を1教科導入します。</p> <p>さらに福岡市では、令和4年度には小中学校の全学年で国語、算数・数学の2教科で導入し、国に先行して本格的に取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>2点目は、「端末の持ち帰り」です。予算をつけていただいたおかげで、家庭の通信環境に関わらず、持ち帰りが可能になります。これにより、予習・復習のやり方をはじめとして、家庭学習の形が大きく変わります。</p> <p>3点目は、「教職員のアップデート」です。教員の中にはICTが得意でない者がいるのも事実です。ただ、今後の教育にはICTを使いこなす能力は必須であり、外部講師による専門研修、各校を訪問してサポートするICT支援員など、あらゆる手段を使って、指導力の底上げを図っていきます。</p> <p>4点目は、「人材確保」です。福岡市においても、教員採用試験の競争率は低下傾向にあり、質の高い人材の確保は急務です。採用する側だからと待ちの姿勢では何も変わりません。各大学と連携し、これからの教育に必要な能力をもった教員の育成に積極的に関わっていくとともに、そうして育てた優秀な人材をしっかりと採用していきたいと考えています。</p> <p>以上でございます。</p>
企画調整部長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これから意見交換に入りたいと思います。</p>
高島市長	<p>GIGA スクール構想については前倒しで整備するなど、教育委員会は積極的に取り組んでいただき、感謝申し上げます。</p> <p>これからのニューノーマルということで、子ども達はすぐICTに慣れると思うのですが、先生方はICTが不得意な人もいるため、先生方のアップデートがポイントだと思います。子どもたちに教える人という役割から、ファシリテーターであったり、伴走者であったり、これから望まれる学校の教員を育てることが必要です。そのため福岡市では、大学と連携し、育成するところから関わっていくという全国的にも珍しい取り組みを行います。また、2月に全校一斉オンライン授業を実施しました。そろそろ先生方も慣れてきたかと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
原委員	<p>私には中学生の子どもがいて、実際にオンライン授業を見聞きしたので報告します。土曜日の午前中に実施されていたのですが、印象に残った点と</p>

	<p>して、保健体育の授業において、有名スポーツ選手の名言を各自ネットで検索し、それをもとにクラスで意見交換して、先生がとりまとめを行い、最終的に生徒自身がオンラインで提出するという、双方向のやりとりが効果的に行われました。また、学年のほとんどの生徒が参加したということで、オンライン環境が整備されていることを実感しました。</p>
徳成委員	<p>さきほど市長の方から、教師のICT活用能力についてご指摘がありました。ICTについて、日本は世界の中でもとても遅れており、また、日本の中でも福岡市が遅れをとっていました。ここにきてGIGAスクール構想の前倒しの実施などにより、日本の中でもトップクラスになりました。これから子ども達が多様化していく中で、教師に求められるスキルについても、大きな変換点を迎えています。教育は全ての子ども達の幸福感を前提にしなければならないので、ICTを活用して、障がいのある子ども達、学校に来ることができない子ども達、日本語を母語としない子ども達にもしっかりとフォローすることが可能であると思います。また、情報活用能力は大事ですが、それ以上に創造性、リーダーシップ、他者との協働といった人間的なスキルがより一層求められます。学校は人間形成の場であるため、教師にしかできない役割がますます重要になります。ICTの活用により、個に応じた教材を提供することによって、子ども達が色んな学びを主体的に進めていくことができるのではないかと考えています。最後に1つだけ話をします。今、私は保育園の園長をやっているのですが、昨年から今年にかけて、卒園する予定の年長児と小学生との交流や体験入学がすべてストップしてしまいました。そのため小学校5年生が総合的な学習の時間に動画を作成し、学校紹介の動画を校区内の全ての保育園へ送付しました。それを見た卒園する予定の年長児が夢と希望を描くことができました。技術を活用して学習をパーソナルなものに変換しながら、社会の変化に対応していくという教師の価値観の転換が今一番求められているのではないかと感じています。</p>
町委員	<p>さきほど徳成委員がおっしゃられたように、日本の教育は先生主導でしたが、ICTの活用により教育の在り方がずいぶん変わってくるのではないかと感じています。デジタル教科書の使用は授業時間の2分の1以下にしないといけないなどの制約がありましたが、次年度からは随分緩和されることを聞きました。福岡市が全国に先駆けてICT活用を推進することは素晴らしいことです。また、大学との連携もとても重要なことであり、優秀な学生を採り入れるという意味ではよい取組みを行っているのではないかと感じています。</p>
武部委員	<p>今、マスクの着用により、顔を直接見ることが少なくなってきており、子ども達が表情から相手に寄り添うことが難しくなっている中で、オンラインは表情でのコミュニケーションを教えることができるようになると思っています。オンラインを活用することにより、最後まで聞かないと話す</p>

	<p>ことができないため、相手の言葉を最後まできく練習にもなります。そのような点も先生方に意識して活用してもらいたいです。</p>
西村委員	<p>学習端末を利用しての学習は、家庭で宿題に取り組めるだけでなく、それぞれ自分の学習状況に応じて、分からないところや苦手な部分を克服できるため、学習意欲の向上につながり、保護者として大きな期待をしております。また、病気やけがや様々な理由で長く学校に行けない子ども達にとって、学習の遅れは一番不安だと思っていることです。その中で分からない点や、学校の教室でやっている勉強に追いつけるような学習を自分たちの端末でできるということは、とても安心できると思えました。学習端末を利用しての学習は、子ども達にとって1日も早く安定した日常を取り戻すひとつの手段だと思っていますので、大きく期待しています。</p>
企画調整部長	<p>活発なご意見ありがとうございました。 ここで百道浜小学校のみなさんをつなぎたいと思います。 百道浜小学校のみなさん聞こえますか。</p>
高島市長	<p>百道浜小学校のみなさんこんにちは。市長の高島です。コロナがあって大変だったと思いますが、実際に端末を使ってみてどうでしたか。</p>
百道浜小学校	<p>楽しくできた。</p>
高島市長	<p>よかったです。操作は難しくなかったですか。</p>
百道浜小学校	<p>少し難しかった。</p>
高島市長	<p>なるほど。難しいところもあったと思うけど、これから使っていくうちに慣れていくといいね。タブレットを使って、どんな授業をやっていききたいと思えますか。</p>
百道浜小学校	<p>道徳。</p>
高島市長	<p>他にどんなことをやってみたいと思えますか。</p>
百道浜小学校	<p>理科。</p>
高島市長	<p>そうだね。たしかに実験とか教科書の写真でしか見ることができなかったものが動画で見ることができるようになるので、是非色々な形でタブレットを使ってみてください。こうやってみんなの教室と話ができるのは今までなかったことなので、すごいなと思っています。 先生はうまくタブレットを使っていると思えますか。</p>
百道浜小学校	<p>はい。</p>
高島市長	<p>ありがとうございました。教育委員の皆様何かありませんか。</p>
町委員	<p>先生は皆さんにタブレットを使ってわかりやすく教えてくれますか。</p>
百道浜小学校	<p>はい。</p>
町委員	<p>安心しました。</p>
武部委員	<p>おうちでタブレットを使うときは、自分の部屋ですか、それとも、おうちの人の近くですか。</p>
百道浜小学校	<p>(児童は挙手で回答)</p>
武部委員	<p>おうちの人もタブレットを見たりするのですか。</p>

百道浜小学校	(児童は挙手で回答)
西村委員	みなさん達はお父さんやお母さんにタブレットの使い方を教えたりしていますか。
百道浜小学校	(児童は挙手で回答)
西村委員	たくさん教えて一緒に楽しめるようになってください。
企画調整部長	時間になりましたので、ここで百道浜小学校の子ども達とお別れです。皆さんありがとうございました。 先ほどの議事に関する意見交換について、他に発言がある方がいらっしゃいましたらお願いします。
町委員	先ほど市長がおっしゃられたように、先生たちのスキルアップが大事だと思います。データを見ると7～8割の先生がICTの活用に不安を感じているため、研修体制がうまくいくように教育委員会としてもバックアップするとともに、予算を確保し、子ども達がしっかりと学ぶことができるような環境を作れるよう取り組んでいく必要があります。
高島市長	承知しました。町委員がおっしゃられるように、SDGsではないですが、先生たちを誰一人取り残さないというのも大事だと思っており、ICTが得意ではない先生方が使い方を熟知できるようにする研修体制が大事だと思っています。これから入ってくる先生方は大丈夫だと思うので、今いらっしゃる先生方がしっかりと研修できる機会を確保すべく、市長部局としても予算面でバックアップしたいと思います。
企画調整部長	それではここでその他、協議事項以外で何かございませんでしょうか。
西村委員	今日耳にしたのですが、子ども達のなりたい職業のランキングで、小中高の女の子において、2位に教員があり、とても嬉しかったです。先生方もオンラインの勉強などでとても大変だと思いますが、これを励みに頑張ってもらいたいです。子ども達がコロナの中での先生方のフォローをすごく感じてくれているんだと思います。これまで教師の順位は割と下のほうだったので、なりたい職業の中でここまで上がってきたことはとても嬉しいことであり、これを励みに頑張ってもらいたいです。
企画調整部長	他にございませんでしょうか。
高島市長	コロナの中での新しいチャレンジというところでは、今まで出てこなかった話でいくと、教育委員会はすごいなと思っているところがあって、オンラインで参加すれば出席扱いになるということや、タブレットの持ち帰りをしていいですよということなどに積極的にチャレンジしていただいております。感謝しています。あわせて、心の病や家庭の事情などによる自殺者の増加が全国的に課題となっていたり、自殺まで至らなくても深刻な状況にある子ども達もいる中で、是非こころのケアという部分も引き続きお力添えをよろしくをお願いします。
企画調整部長	それでは閉会にあたりまして、高島市長より一言ご挨拶をお願いします。
高島市長	今日は、短い時間ではありましたが、この1年間の新型コロナウイルス感

	<p>染症を踏まえたチャレンジ及び見据えている方向性について話すことができました。まだ誰も日本の中でチャレンジしたことがなかったニューノーマルについて、みんなで手探りで探していく状況ではありますが、子ども達のために、皆さんと力を合わせて頑張っていければと思いますので、今後ともお力添えのほどよろしく願いいたします。</p>
<p>企画調整部長</p>	<p>ありがとうございました。 ではこれもちまして、令和2年度福岡市総合教育会議を終了いたします。みなさまお疲れ様でございました。</p>